

茗溪の水



第 96 回箱根駅伝応援（箱根 IC（風祭）2020.1.3）
*往復路 20 カ所に延べ 2,500 人の同窓が集結

- 1872 (M 5) 師範学校開設（湯島旧昌平賢跡）
- 1873 (M 6) 東京師範学校

- 1882 (M15) ・茗溪会創立（4/29）
- 1883 (M16) ・「茗溪会雑誌」第 1 号発行
- 1886 (M19) 高等師範学校
- 1900 (M33) ・茗溪会雑誌を「教育」に改題
- 1902 (M35) 東京高等師範学校
- 1903 (M36) 校舎移転（大塚窪町）
- 1919 (T 8) ・宣揚歌（桐の葉）が作られる
徽章五三の桐葉形

- 1920 (T 9) ・第 1 回箱根駅伝開催
- 1924 (T13) ・(株)茗溪共済会設立
- 1929 (S 4) 東京文理科大学
- 1933 (S 8) ・茗溪会館開館
- 1949 (S24) 東京教育大学
- 1959 (S34) ・茗溪会雑誌「教育」を「茗溪」に改題

- 1973 (S48) 筑波大学
- 1979 (S54) ・茗溪学園創立

- 1995 (H 7) ・茗溪会館改築落成式

- 2022 (R 4) ・茗溪創基 150 年記念式典

茗溪の由来

茗溪は師範学校が設立された湯島聖堂付近（お茶の水）をさします。「茗」は茶の雅称で、茶に適した良水が湧き出ている場所のようです。

宣揚歌「桐の葉」

一、 桐の葉は木に朽ちんより
秋来なば先驅散らん
名のみなる 男子ぞ我等
醒めて立て

二、 日の本は教の庭に
人も高き 学舎ありと
よしぬれよ 茗溪の水は
年をこえて 百年過ぎぬ

三、 今ここに 筑波の麓に
新泉はたん 若人われら
いざ立ちた 筑波の庭に

四、 桐の葉は 筑波の庭に
いや繁り 三波の庭に
新しき世 紀十年過ぎぬ
いざ行く 世を拓き
かかん ことぞりて吾等

作詞 大和 資雄（一番二番）
大山 信郎（三番）
北原 保雄（四番）
作曲 不明

「桐の葉」は大正 8（1919）年の大学昇格運動の際に当時学生であった大和資雄氏によって作詞されました。新聞紙に筆で「よしぬれよ濁さんよりは」まで一気呵成に書き上げられた歌詞には「日本の教育を担う高等師範学校が大学に昇格しないのであれば廃校も辞さない」という強い思いが込められています。

その後、東京教育大学最後の学長大山信郎氏が 3 番を、筑波大学開学 30 周年を機に北原保雄学長が 4 番を加えました。



キャリアカフェで学生の相談にのる OB・OG（2019.10.16）



茗溪会を知りたい方
入会を希望される方
こちらから



<https://www.meikei.or.jp>

Meikei Proud 茗溪の水



茗溪会は、師範学校に始まり筑波大学に至る茗溪の流れを汲む会員数 55,586 人*からなる同窓会です。

* 2020.5.30 現在

筑波大学同窓会

茗溪会

茗溪会本部事務局は 2 カ所あります。お気軽にお立ち寄り下さい。



■ 大塚事務所（茗溪会館 5F）
〒 112-0012 文京区大塚 1-5-23
TEL 03-3941-0136
メール info@meikei.or.jp

■ 筑波事務所（大学会館内）
〒 305-8577 つくば市天王台 1-1-1
TEL 029-850-1044
メール tsu3jimu@meikei.or.jp

茗溪の絆

Q & A

Message

1

桐—世代を超えて全国に広がる交流

師範学校以来の“自他共栄”の気風が開放的な会を特徴づけています。年齢層や職域は広範に及び、55,586人(*)の会員からなる強い絆が茗溪会の強みです。その絆は、全国各地で組織としてあり、毎年、会合が開かれています。

⇒右下の地図を参照 * 2020.5.30 現在

2

柱—教育界と産業界（官界も含む）—2本の柱

「教育界の本山」といわれてきた茗溪会ですが、他方で、産業界や官界で活躍する会員も多数います。「産業界人倶楽部」を設立し、産業界ネットワークを作っているところです。教育界と産業界を2本の柱として、同窓の結束と支援を進めています。厚く広範なネットワークは、就職や転職、あるいは共同起業など、様々な場面で、お役に立つと思います。また、学生向けには、OB・OG相手に相談できるキャリアカフェを学内で開催していますので、ご参加ください。

3

絆—「茗溪の先輩なら無条件に敬い、茗溪の後輩ならなにをいっても面倒をみる」—

ある卒業生の言葉ですが、典型的な茗溪人の心情ともいえます。このような関係や繋がりが新たな企画を生み出し、大きな事業や仕事へと発展することがあります。茗溪会は、年齢層も厚く、人材豊富です。迷わず、茗溪会の中で茗溪人とかわかってください。

4

縁—学生支援が縁を結び広げます

茗溪会は様々な支援活動を行っています。

学生サポート

【キャリアサポート】

- OB・OG キャリアカフェ
- 教職講座の開講
- 教職2次試験対策研究会

【課外活動サポート】

- 学生活動支援（助成金補助）
- 県人会等の開催補助
- 卒業式後の懇親会補助

Q 会員になるには？

A QRコード>茗溪会 HP >入会のご案内>入会申込フォームに必要事項を記入して送信。手続きはそれだけです。

Q 会員になってどうなるの？

A 会員登録だけでは意味がありません。お住まいや職場のある地域組織に所属する、同じ職域やクラス会、部活動などの会合に参加する。学生なら学内や茗溪会館で様々な会合や行事がありますので、ご参加下さい。茗溪会の活用の仕方は様々です。本部事務局にご相談下さい。

Q 地域組織ってなに？

A 茗溪会の地域組織は全国6ブロック47都道府県にあり、毎年、会合が開かれ懇親を深めています。だれでも参加できます。

Q 地域組織とどのようにかわればいいのか？

A 初めて参加する方で知り合いがいない方は、本部事務局にご相談ください。地域組織の事務局に連絡し、紹介させていただきます。きっと歓迎されますよ。多くの出会いや広がりもできますよ。

尊敬する先輩方との交流によって脈々と受け継がれる茗溪の歴史に思いをはせる機会を、また後輩や学生との交流によって新しい刺激を得ることができ、世代を超えた交流はとても貴重なものだと思います。先輩方がいたからこそ私たちの大学時代があったと思うと共に、現在の学生がいるからこそOB・OGの私たちがいると感じています。

(野崎 芳恵 日日 2000卒 茗溪会事務局勤務)

様々な年代の茗溪会の先輩方から学生時代の思い出話を聞くことで、開学から50年という年月の中で変わらないもの、変化しているものを発見することができました。意外にも私たちが体験したことと共通点も多く、「筑波大学生らしさ」に気付くことは非常に楽しいことです。

(古畑 翼 比文 2019卒 筑波大学院在籍)

開学から50年、その歴史の分だけ様々な方が社会で幅広く活躍されており、茗溪会の集いの場で諸先輩方のお話をお聴きできるのは楽しく有意義なものでした。学生時代にこうした交流を通じて、将来の自分の姿を思い描ききっかけを得られたことは、非常に良い体験でした。

(油井原 このみ 比文 2019卒 会社勤務)



九州・沖縄ブロック

- ④福岡 (7①土)
- ④佐賀 (6②土)
- ④長崎 (6④土)
- ④熊本 (6⑤土)
- ④大分 (2③土)
- ④宮崎 (一)
- ④鹿児島 (2④土)
- ④沖縄 (6④土)

中国・四国ブロック

- ③鳥取 (7②土)
- ③島根 (7③土)
- ③岡山 (一)
- ③広島 (一)
- ③山口 (10②土)
- ③徳島 (1②土)
- ③香川 (11②土)
- ③愛媛 (7①日)
- ③高知 (3①金)

近畿ブロック

- ⑤滋賀 (6④土)
- ⑥京都 (11③土)
- ⑦大阪 (6②土)
- ⑧兵庫 (6④日)
- ⑨奈良 (7①土)
- ⑩和歌山 (7③月)

北陸・東海ブロック

- ⑧富山 (7①土)
- ⑨石川 (2②土)
- ⑩福井 (2①土)
- ⑪静岡 (6⑤土)
- ⑫愛知 (7②土)
- ⑬岐阜 (2①土)
- ⑭三重 (6⑤土)

関東・甲信越ブロック

- ⑧茨城 (7①日)
- ⑨栃木 (7①土)
- ⑩群馬 (6⑤土)
- ⑪埼玉 (一)
- ⑫千葉 (7①日)
- ⑬東京 (12①日)
- ⑭神奈川 (7④土)
- ⑮山梨 (7③土)
- ⑯長野 (6④日)
- ⑰新潟 (7①土)

北海道・東北ブロック

- ①北海道 (5②土)
- ②青森 (8③土)
- ③岩手 (1①土)
- ④宮城 (11④土)
- ⑤秋田 (9②土)
- ⑥山形 (12①土)
- ⑦福島 (7①日)